

A 支援関係機関等が把握している
事案状況を引き出すための**質問観点**
の
アイデア出しをサポート

B ケースの概要情報をもとに、
支援方針のアイデア出しをサポート

C 支援方針の整理に向け、
社会資源・制度に関する
知見を深めるためのサポート

F AIが支援関係機関となって、
シナリオに沿ったアセスメント等の
訓練を**ロールプレイ**でサポート

想定場面

支援関係機関から相談を受けたとき、AIを利用して回答や方針を考えたい

相談者情報

80代女性で要介護2、訪問介護の導入を検討している。80代の夫、50代の息子と同居中。息子は就職していたが退職し、それから20年以上ひきこもり。職場で罵倒された声が今でも聞こえ続けている様子。

相談内容

夫と息子の折り合い悪く、近年夫から息子に露骨に暴言を吐くようになってきたことが気がありで、いざれ暴力や虐待が発生するのではないかと心配している。また80代女性は自身の介護といざれ遺される息子の将来に強い不安を抱えている。

相談経緯

地域包括支援センターの職員が、80代女性の訪問介護導入の話をするために訪問した際に女性から話あり。世帯全体への支援が必要な可能性があることから多機関協働事業者へ相談。

想定場面

支援関係機関に色々質問し、
情報を引き出すための
ロールプレイをしたい

使い方例

問い合わせ案を提示してくれる。
「アセスメントの観点として、以下のようなこともお伺い
できること良いかもしれません。少しでも参考になれば幸いです。」



使い方例

支援方針を教えてくれる。
「以下の支援観点が考えられるかもしれません。
参考になる部分があれば幸いです。」



使い方例

制度や社会資源を教えてくれる。
「相談者の状況を踏まえ、以下の制度や社会資源をご案内する
ことが考えられます。何かのヒントになると幸いです。」



使い方例

生成AIが支援関係機関の支援員になりきってくれ、
ケースに対する会話ができる。
「地域包括支援センターのケアマネジャーです。今回、相談支援員さんに
共有したいのは、ある四世代世帯に関するケースです。」

